

突発的な地震発生時、南海トラフ地震臨時情報の発表時及び 弾道ミサイル発射等に対する対応について

富士市立富士中学校

1 突発的な地震発生時の対応について

【地震発生時の生徒の対応】

状況	登・下校中	在校中	校外活動中	在宅時
震度4以下	安全には十分に気を付けて、登校する。	原則、通常通り。	原則、通常通り。 安全確保に努める。	登校前は、自宅待機とする。安全を確保し、学校からの指示を待つ。
震度5弱以上	場所により、自宅か学校のどちらかを判断し、速やかに移動する。	原則、教育活動を中止する。 保護者への引き渡しを行い、引き渡しができない生徒については、校内に留め置く。		原則、休校とする。保護者の管理下で行動する。

2 南海トラフ地震臨時情報の発表時の対応について

【南海トラフ地震臨時情報が発表された直後の生徒の対応】

国は、以前の東海地震に係る「警戒宣言」とは違い、「臨時情報」では強い規制をかけず、可能な限り普段の活動を継続する方針を打ち出しています。それを踏まえ、当日の対応は以下のようにします。

状況	登・下校中	在校中	校外活動中
調査中	通常通り	通常通り	通常通り
巨大地震注意	通常通り	通常通り	通常通り
巨大地震警戒	情報を知った時点で、自宅、学校の近い方に避難する。	原則、学校に留め置く。 保護者が希望すれば、引き渡す。	原則、活動を中止し、安全を確保する。

3 弾道ミサイル等発射に対する対応について

(1) 登校前

「自宅待機」とし、自宅で保護者の指示のもと、安全を確保する。

(2) 登下校途中

最寄りの建物に入れてもらうか、入れない場合は、建物の陰に身を伏せ、体をかがめて頭を守る。付近に建物がないときは、地面に伏せて身を守る。その後、場所により、自宅か学校のどちらかを判断し、速やかに移動する。

(3) 在校中

校舎内では、できるだけ窓から離れ、机の下に入るなどして体を守る。校舎外にいるときは、素早く校舎内に避難し身を守る。状況に応じて、安全確保に努めながら通常通りの教育活動を行うか、保護者への引き渡しを行うかを判断する。